



短い夏休みを有意義に過ごそう

前例のない1学期でしたが、その1学期が今日で終わり、明日からは2週間の夏休みに入ります。今年は梅雨明けが遅く、夏休みが短いため、夏休みを楽しみにしていたという人は少ないかもしれません。10日後には学校での夏季講習がある、という人も多いでしょう。

しかし、短い夏休みではありますが、ただ体を休めるだけでなく、どう過ごすかが、秋の実りに大きく関わってきます。部活動や講習、個人的な用事など、いろいろな予定が入っていることと思いますが、以下を参考にして有意義な夏休みを送るようにしてください。

◆進路実現に向けて——夏休みの過ごし方

- ①夏休み中も生活リズムを崩さない(朝型を維持し、規則正しく生活する)
- ②学習計画を立て、夏休み中に復習や苦手分野の克服をする
- ③各学年の進路の夏課題に取り組む

〈各学年の進路の夏課題〉

- 1年生** オープンキャンパスに参加して、大学や学部について知る
・自分の進路について考える

1年生の皆さんには、11月に行われる学部・学科説明会の希望調査を2回行いました。18の系統の中から第4希望までを選んでもらうというものでした。数学系は数学という言葉が入っているから中学・高校数学の延長だろう、と容易に想像できたかもしれません。でも実際にはどんな勉強をするのでしょうか。そういったことを調べてもらいたいので、蛍雪時代4月臨時増刊号の該当ページを載せておきました。光工学系統はどんな勉強をするのだろうか？ そう思った人も多いでしょう。これはP.568、P.633に載っています。自分が勉強したいことは工学部のこれだ、と決めている人でも、P.566～P.569を是非見てください。材料工学、経営システム工学科、医用生体工学科、経営工

学・管理工学はどんなことをやるのか、理学部の生物学と工学部の生物工学の違いは？など、いろいろと調べてみてください。自分の知らない分野・学科がまだまだあると思います。大学へ進学してから、あの学科を知っていたらそっちへ進みたかったなあ、と後悔することの無いように！

- 2年生** 3年次の選択科目を慎重に考える
- ・自分の進路について、もう一度しっかり考え、家族とも話し合う
 - ・志望大学、学部(学科)の受験科目や配点を調べる

- 3年生** 進路実現に向けて不得意科目&分野を克服し、学力を付ける
- ・時間を大切に、1日10時間の学習時間を確保
→すきま時間の有効活用。知的持久力・知的体力を付ける
*共通テストも個別試験も長丁場。長時間集中できるように、知的体力・持久力を付けよう
 - ・共通テストレベルの完成
→国・数・英・理・歴公の基礎固めは8月末までに完成
*秋以降は個別試験に向けた準備が始まります
 - ・弱点克服と二次力(=記述力)の強化
 - ・学習の穴を作らない
→毎日(または1週間の計画で)全科目に触れる
 - ・苦手分野の克服
→苦手分野を克服するには、集中してやってもかなりの時間がかかります。いつもよりはまとまった時間がとれる夏休みに、じっくり取り組み、苦手分野を克服しよう
 - ・計画的に学習する(「逆算プラン」を作ってみる)
→直前になって慌てたり、焦ったりして心理的に追い込まれることのないように、入試本番から逆算して学習プランを立てよう
*プランを立てる際は「いつまでに、何を、どこまで」など、具体的に立て、「見える化」することが大事
*やったことを消していくと、達成感あり！
*実際に実行していく中で、修正を加えていく

まずは、行動することが、進路実現への大切な第一歩！！

受験における3大失敗要因は次のように言われています

- ①全体的な学習量が足りなかった
- ②学習の方向性を間違えた
- ③本番で力を発揮できなかった

気を付けましょう！